



5 故障かな？と 思ったときは

OSを動作させるために必要なファイルが破損した場合の対処方法を始め、本装置に障害が発生した際の対処方法について説明しています。

システムの修復

何らかの原因でシステムを稼働できなくなった場合は、回復コンソールを使用してシステムの修復を行います。ただし、この方法は詳しい知識のあるユーザや管理者以外にはお勧めできません。

回復コンソールを使用して破損ファイルを修復した場合は、必ず「システムのアップデート」(5-8ページ)を実行してください。



ハードディスクが認識できない場合は、システムの修復はできません。

準備

回復コンソールの起動には「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」と呼ばれるサポートディスクが必要です。

回復コンソールの起動を始める前に「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」を用意してください。

Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT4.0、または Window 95/98/Meで動作するコンピュータをお持ちではない場合

以下の手順で「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」を作成してください。

1. 3.5インチフロッピーディスクを1枚用意する。
2. 周辺装置、Express5800/ftサーバの順に電源をONにする。
3. BIOSの設定を変更する。
「Advanced」→「Monitiorring Configuration」の「Boot Monitoring」の設定を「Disable」に設定してください。詳しくは「起動監視機能の切り替え ～BIOS設定の変更～」(3-2ページ)を参照してください。
4. Express5800/ftサーバのCD-ROMドライブに添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットする。
5. CD-ROMをセットしたら、リセットする(<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押す)か、電源をOFF/ONしてExpress5800/ftサーバを再起動する。
CD-ROMからシステムが立ち上がり、EXPRESSBUILDERが起動します。
6. [ツールメニュー]から[サポートディスクの作成]を選択する。
7. [サポートディスク作成メニュー]から[Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER]を選択する。
8. 画面の指示に従ってフロッピーディスクをセットする。

「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」が作成されます。作成した「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」はライトプロテクトをし、ラベルを貼って大切に保管してください。

Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT4.0、または Window 95/98/Meで動作するコンピュータをお持ちの場合

以下の手順でも「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」を作成することができます。

1. 3.5インチフロッピーディスクを1枚用意する。
2. 添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをWindows Server 2003、Windows 2000、Windows NT4.0、Windows 95/98/Meで動作するコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
3. 「ソフトウェアのセットアップ」から「OEMディスクの作成」を選択する。
4. 画面の指示に従ってフロッピーディスクをセットする。

「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」が作成されます。作成した「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」はライトプロテクトをし、ラベルを貼って大切に保管してください。

「Express5800/ftサーバシリーズft制御ソフトウェア(Ver:n.n) UPDATE CD-ROM」がある場合

以下の手順により、「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」を作成してください。

1. 3.5インチフロッピーディスクを1枚用意する。
2. 「Express5800/ftサーバシリーズft制御ソフトウェア(Ver:n.n) UPDATE CD-ROM」をWindows Server 2003、Windows 2000、Windows NT4.0、Windows 95/98/Meで動作するコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
3. タスクバーの[スタート] から「ファイル名を指定して実行」を選択して以下を実行する。

C D - R O Mドライブ:¥WINNT¥BIN¥MAKEFD¥DOTNET¥MAKEOEM.BAT LANGJPN

重要

LANGJPNは引数です。必ず指定してください。

4. 画面の指示に従ってフロッピーディスクをセットする。
- 「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」が作成されます。作成した「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」はライトプロテクトをし、ラベルを貼って大切に保管してください。

回復コンソール起動方法

回復コンソールの起動方法は次の2通りあります。

- システムにインストールした回復コンソールを起動する方法
- Windows Server 2003 CD-ROMから回復コンソールを起動する方法

システムに回復コンソールをインストールする方法

1. Express5800/ftサーバを起動し、Windows Server 2003にログオンする。
2. Express5800/ftサーバのCD-ROMドライブにWindows Server 2003 CD-ROMを挿入する。
3. タスクバーの[スタート]から「ファイル名を指定して実行」を選択し、以下を実行する。
CD-ROMドライブ：¥i386¥winnt32.exe /cmdcons /syspart:c: /tempdrive:c:
4. 画面の指示に従って回復コンソールをインストールする。

回復コンソール起動方法

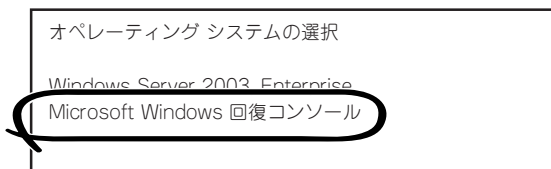
1. BIOSの設定を変更する。

「Advanced」→「Monitoring Configuration」の「Boot Monitoring」の設定を「Disable」に設定してください。詳細については、「起動監視機能の切り替え ～BIOS設定の変更～」(3-2ページ)を参照してください。

2. システムの電源をONにする。

- システムにインストールした回復コンソールを起動する場合

- (a) オペレーティングシステムの選択で「Microsoft Windows 回復コンソール」を選択する。



- (b) 画面下に次のメッセージが表示されたら、すばやく<F5>+<F6>キーを押す。

Starting Windows Recovery Console...
Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver...

重要

<F5>+<F6>キーを押さないと回復コンソールは起動しません。次の手順3のHAL選択画面が表示されなかった場合は、システムを再起動してオペレーティングシステムの選択からやり直してください。

● Windows Server 2003 CD-ROMから回復コンソールを起動する場合

- (a) Express5800/ftサーバのCD-ROMドライブにWindows Server 2003 CD-ROMをセットする。
- (b) Windows Server 2003 CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしたら、リセットする(<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押す)か、電源をOFF/ONしてExpress5800/ftサーバを再起動する。
- (c) 画面上に次のメッセージが表示されたら、任意のキーを押してCD-ROMから起動する。

Press any key to boot from CD

 重要

メッセージが表示されている間に任意のキーを押さないとハードディスクから起動します。回復コンソールは起動できません。

- (d) 画面下に次のメッセージが表示されたら、すばやく<F5>+<F6>キーを押す。

Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver...

 重要

<F5>+<F6>キーを押さないと回復コンソールは起動しません。次の手順3のHAL選択画面が表示されなかった場合は、システムを再起動してオペレーティングシステムの選択からやり直してください。

3. HALを選択する画面が表示されるので、以下の手順を実行する。

- (a) Other(規定値)を選択し、<Enter>キーを押す。

Setup could not determine the type of computer you have, or you have chosen to manually specify the computer type.

Select the computer type from the following list, or select "Other"
If you have a device support disk provided by your computer manufacturer.

To scroll through the menu items press up arrow or down arrow.

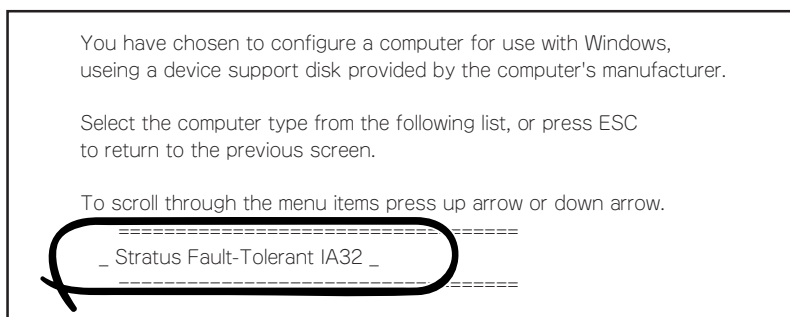
```
=====
_ ACPI Multiprocessor PC                      -
_ ACPI Uniprocessor PC                       -
_ Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) PC -
_ MPS Uniprocessor PC                        -
_ MPS Multiprocessor PC                     -
_ Standard PC                               -
_ Other                                     -
=====
```

- (b) 「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」をフロッピーディスクドライブにセットし、<Enter>キーを押す。

Please insert the disk labeled
Manufacture-supplied hardware support disk
into Drive A:

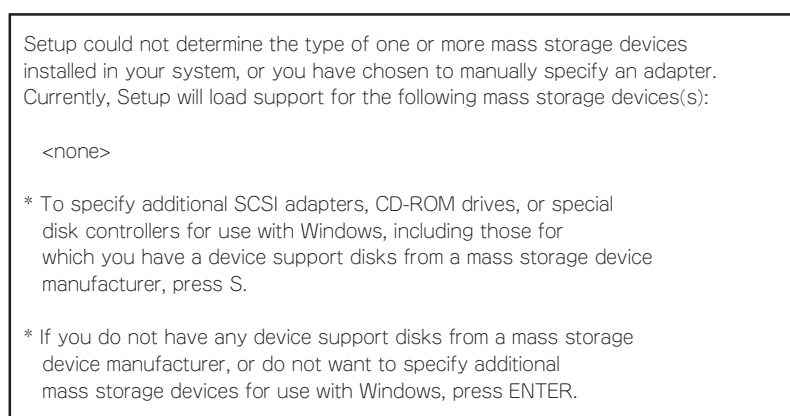
* Press ENTER when ready.

- (c) フロッピーディスク内にあるHALを指定し、<Enter>キーを押す。

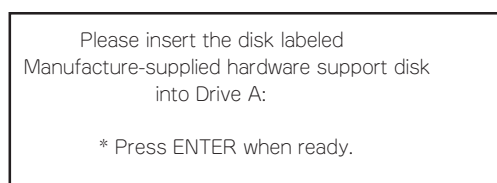


4. SCSIドライバを選択する画面が表示されるので、以下の手順を実行する。

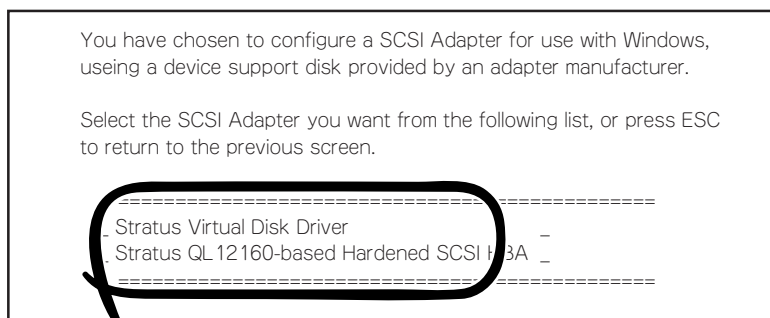
- (a) <S>キーを押す。



- (b) 「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」をフロッピーディスクドライブにセットし、<Enter>キーを押す。



- (c) フロッピーディスク内にあるすべてのSCSIドライバを指定し、<Enter>キーを押す。



🔑 重要

- 「Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」には複数のSCSIドライバがあります。手順4-(a)～(c)を繰り返し、表示されているフロッピーディスク内のすべてのSCSIドライバを選択してください。

Setup will load support for the following mass storage device(s):

Stratus Virtual Disk Driver
Stratus QL 12160-based Hardened SCSI HBA

* To specify additional SCSI adapters, CD-ROM drives, or special disk controllers for use with Windows, including those for which you have a device support disks from a mass storage device manufacturer, press S.

* If you do not have any device support disks from a mass storage device manufacturer, or do not want to specify additional mass storage devices for use with Windows, press ENTER.

- システムにインストールした回復コンソールの起動を行った場合、手順6の画面が表示されるまでしばらくの間、画面が真っ暗になりますが、システムは動作しています。しばらくそのままお待ちください。

5. Windows Server 2003 CD-ROMから回復コンソールの起動を行った場合、次のメッセージが表示されるので、回復コンソール起動のため、<R>キーを押す。

セットアップの開始

セットアッププログラムのこの部分では、Microsoft(R) Windows(R)のインストールと設定を準備します。

- ・ Windowsのセットアップを開始するには、Enterキーを押してください。
- ・ インストール済みのWindowsを回復コンソールを使って修復するには、Rキーを押してください。
- ・ Windowsをインストールしないでセットアップを終了するには、F3キーを押してください。

🔑 重要

システムにインストールした回復コンソールの起動を行った場合は、上記メッセージは表示されません。

6. 画面の指示に従って回復コンソールを起動する。

🔑 重要

- 回復コンソールを使用して破損ファイルを修復した場合は、続けて「システムのアップデート」(5-8ページ)を行ってください。
- ファイルの修復を行わずにシステムの運用を行う場合は、BIOSの設定を変更してください。

「Advanced」－「Monitoring Configuration」の「Boot Monitoring」の設定を「Enable」に設定してください。詳細については、「起動監視機能の切り替え ～BIOS設定の変更～」(3-2ページ)を参照してください。

システムのアップデート



Express5800/ftサーバは精密機器です。システムのアップデートはできるだけ専門的な知識を持った保守サービス会社の保守員に依頼してください。

システムのアップデートは回復コンソールを使用してシステムを修復した場合に行います。



- 回復コンソールを使用してシステムを修復した場合のシステムのアップデートは、必ず以下の手順で実行してください。

- BIOSの設定を確認してください。

「Advanced」－「Monitoring Configuration」の「Boot Monitoring」の設定が「Disable」でない場合は、「Disable」に設定してください。詳細については、「起動監視機能の切り替え ～BIOS設定の変更～」(3-2ページ)を参照してください。

1. OSインストール済みのシステムで、管理者権限のあるユーザでログインする。



システムが正常に二重化されていることを確認します。(装置前面の各PCIモジュールのSTATUS2ランプが緑色に点灯していることを確認してください。)

2. LANの二重化を解除する。

オンボード、オプションボードともに行います。



LANの二重化を解除すると、LANの設定が削除されます。設定の内容は紙などに書き写しておいてください。

(a) [Intel(R)PROSet II] ダイアログボックスを表示する。

(b) 以下のどちらかのスタートメニューモードをそれぞれの手順に従って起動させる。

標準のスタートメニューモード

スタートメニューから[コントロールパネル]－[Intel(R)PROSet II]をクリックする。

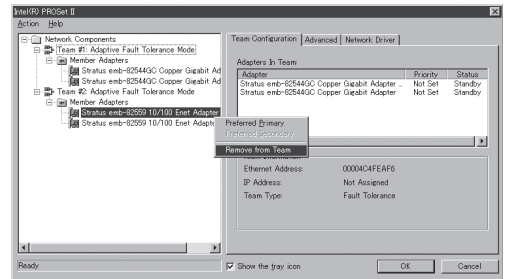
クラシックスタートメニューモード

(1) スタートメニューから[設定]－[コントロールパネル]をクリックする。

(2) [Intel(R)PROSet II] アイコンをダブルクリックする。

- (c) すべてのアダプタを二重化から取り除く。

[Intel(R)PROSet II] ダイアログボックスの左側のコントロールツリーより以下のアダプタを選択して右クリックし、[Remove from Team]を選択します。



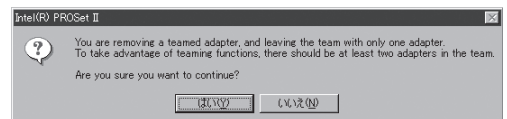
< オンボードの場合 >

- Stratus emb-82559 10/100 Enet Adapter
- Stratus emb-82544GC Copper Gigabit Adapter

< オプションボードの場合 >

- Stratus AA-U51500 10/100 Enet Adapter(100BASE-TX)
- Stratus AA-U57000 Fiber Gigabit Adapter(1000BASE-SX)
- NEC 8490XT Copper Gigabit Adapter(1000BASE-T)

この時、右のダイアログボックスが表示されます。
2枚1組で二重化を組んでいるのに対して1枚取り除こうとしたために表示されます。



[はい]をクリックしてください。アダプタがTeamより削除されます。

もう一方のアダプタに対しても同じように取り除いてください。

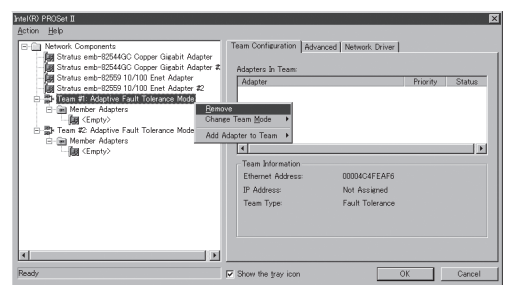
< オンボードの場合 >

- Stratus emb-82559 10/100 Enet Adapter
- Stratus emb-82544GC Copper Gigabit Adapter

< オプションボードの場合 >

- Stratus AA-U51500 10/100 Enet Adapter(100BASE-TX)
- Stratus AA-U57000 Fiber Gigabit Adapter(1000BASE-SX)
- NEC 8490XT Copper Gigabit Adapter(1000BASE-T)

- (d) [Team #1:Adaptive Fault Tolerance Mode]を右クリックし、[Remove]を選択する。



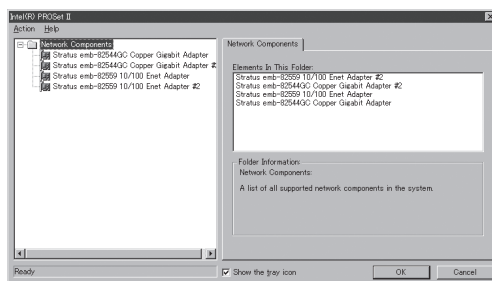
この時、右のダイアログボックスが表示されます。確認のためのメッセージですので[はい]をクリックしてください。

[Intel(R)PROSet II] ダイアログボックス表示されているすべてのTeamを同様の手順で取り除いてください。



- (e) [Intel PROSet II]ダイアログボックスの[OK]をクリックし、[Intel PROSet II]ダイアログボックスを終了して設定を有効にする。

以上で二重化は解除されます。



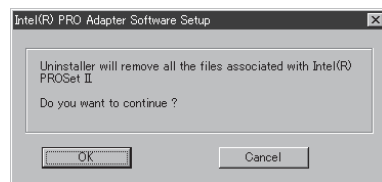
3. Intel(R) PROSet II をアンインストールする。

- (a) [スタート]—[設定]—[コントロールパネル]をクリックする。
[コントロールパネル]ダイアログボックスが表示されます。
- (b) [コントロールパネル]ダイアログボックスの[プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。
[アプリケーションの追加と削除]ダイアログボックスが表示されます。

- (c) [現在インストールされているプログラム:]の一覧より[Intel(R) PROSet II]を選択する。



- (d) [変更/削除]をクリックする。
この時、右のダイアログボックスが表示されます。
削除の確認のメッセージです。[OK]をクリックしてください。



- (e) [アプリケーションの追加と削除]ダイアログボックスの[閉じる]をクリックして[アプリケーションの追加と削除]ダイアログボックスを閉じる。
- (f) システムを再起動させる。

重要

必ずシステムを再起動してからシステムのアップデートを行ってください。再起動を行わずに次の手順(PROSet IIのインストール)を実施した場合、マシンを起動してもPROSet IIが起動されません。また、システムの動作が不安定になる場合があります。

4. 再起動後、管理者権限のあるユーザでログインする。

重要

システムが正常に二重化されていることを確認します。(装置前面の各PCIモジュールのSTATUS2ランプが緑色に点灯していることを確認してください。)

5. 以下の手順に従ってシステムのアップデートを行う。

- 「Express5800/ftサーバシリーズft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROM」がない場合
(EXPRESSBUILDER)CD-ROMを使用する場合)
 - (a) アカウント (Administratorなど) で、システムにログインした後、「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをExpress5800/ftサーバのCD-ROMドライブにセットする。
 - (b) 表示された「マスターコントローラメニュー」画面の「ソフトウェアのセットアップ」を左クリックし、メニューから「システムのアップデート」をクリックする。
 - (c) 画面に表示されるメッセージに従って処理を続行する。
 - 「Express5800/ftサーバシリーズft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROM」がある場合
 - (a) アカウント (Administratorなど) で、システムにログインした後、「Express5800/ftサーバシリーズft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROM」をExpress5800/ftサーバのCD-ROMドライブにセットする。
 - (b) タスクバーの[スタート]から[ファイル名を指定して実行]を選択して、
CD-ROMドライブ:¥WINNT¥DOTNET¥FTUPDATE.VBS
を実行する。
 - (c) 画面に表示されるメッセージに従って処理を続行する。
6. システムのアップデート終了後、自動的に再起動されるので、再起動が開始されたらCD-ROMドライブからCDを取り出す。

重要

アップデート処理中、「Windows -FTの孤立化 フォールトトレラントボリュームの一部であるディスクにアクセスできません」のメッセージが表示され、その後の再起動において、OSストップエラーとなる場合があります。OSストップエラーが発生した場合には、以下の手順を実施してください。なお、システムのアップデートは正常に行われておりますが、ディスクのミラーは外れています。手順7で必ずディスクのミラーを確認してください。

- ① POWERスイッチを長押ししてシステムの電源をOFFにする。
- ② PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)の2つのBMCステータスランプが消灯していることを確認する。

(重要) BMCステータスランプが「赤色点滅中」の場合は、手順③以降の操作は行わないでください。BMCファームウェアが破壊されるおそれがあります。

- ③ POWERスイッチが緑色点灯しているPCIモジュールを特定する。

このときPCIモジュール(グループ1用)とPCIモジュール(グループ2用)のどちらのPOWERスイッチが緑色点灯しているか覚えておきます。その後、以下のACインレットに接続された電源コードを抜きます。

ACインレットの位置については3-17ページを参照願います。

<次ページへ続く>

重要

- PCIモジュール(グループ1用)のPOWERスイッチが緑色点灯している場合
装置背面の「②ACインレット」(上部のACインレット。詳細は3-17ページ参照。)に接続された電源コードを抜く。
 - PCIモジュール(グループ2用)のPOWERスイッチが緑色点灯している場合
装置背面の「⑤ACインレット」(下部のACインレット。詳細は3-17ページ参照。)に接続された電源コードを抜く。
- ④ 手順③で覚えておいたPCIモジュールと違う側のPCIモジュールのPOWERスイッチが緑色点灯することを確認する。
- (重要) POWERスイッチの緑色点灯が手順③で覚えておいたPCIモジュールと違う側に変わらなかった場合は、手順②から操作をやり直してください。
- ⑤ 手順③で抜いた電源コードを元通りに接続する。
- ⑥ PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)の2つのBMCステータスランプが「消灯」することを確認して、手順⑦以降の操作を行う。
- (重要) BMCステータスランプが「赤色点滅中」の場合は、手順⑦以降の操作は行わないでください。BMCファームウェアが破壊されるおそれがあります。
- ⑦ 手順④でPOWERスイッチが緑色点灯していることを確認したPCIモジュールのPOWERスイッチを押下し、システムの電源をONにする。

7. ディスクのミラーを確認する。

ディスクのミラーが外れている場合はミラーの再設定を行ってください。

重要

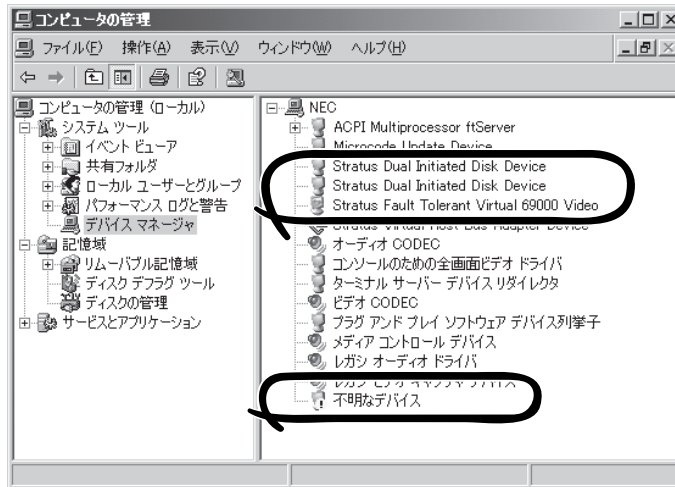
ディスクが再同期中の場合は、再同期が終了するまでシャットダウンは行わないでください。

8. デバイスマネージャを起動し、[表示]メニューの[デバイス(接続別)]を選択して以下の操作を行う。

(a) 下図の枠で囲ったデバイスエントリを削除する。

重要

ACPI Multiprocessor ftServer」配下の「Stratus Fault Tolerant 69000 Video」は削除しないようにしてください。



削除するデバイスエントリ

- ☐ Stratus Dual Initiated Disk Device
- ☐ Stratus Dual Initiated Disk Device
- ☐ Stratus Fault Tolerant 69000 Video
- ☐ ! 不明なデバイス

a-1. 該当デバイスを選択して右クリックし、「削除」を選択する。

a-2. [削除の確認] ダイアログボックスが表示されますので、デバイス名を確認の上、[OK]をクリックする。

9. オプションボードが接続されている場合は、以下のオプションごとの操作を実行する。

手順5で使用したCD-ROMを使用して以下の操作を行ってください。

(a) N8804-001P1(100BASE-TX接続ボード)が接続されている場合

a-1. [コマンドプロンプト]を実行する。

a-2. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してCD-ROMドライブに移動する。

C:>¥> CD-ROMドライブ:

a-3. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してパッチファイルがあるフォルダに移動する。

CD-ROMドライブ:¥> cd¥WINNT¥DOTNET¥JP

a-4. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行して、ドライバを更新する。

CD-ROMドライブ:¥WINNT¥DOTNET¥JP > N8804001.BAT

a-5. 以下のドライバの更新完了メッセージが表示される。

「[ドライバの更新 完了]

何かキーを押して終了してください。」

(b) N8803-031(Fibre Channelコントローラ)が接続されている場合

- b-1. [スタート]－[プログラム]－[管理ツール]－[コンピュータの管理]－[デバイスマネージャ]を起動する。
[SCSIとRAIDコントローラ]の下に、[Qlogic QLA23xx PCI Fibre Channel Adapter]が表示されていることを確認してください。
Fibre Channelコントローラの実装枚数分表示されている場合は、手順b-2以降の作業は必要ありません。
[Qlogic QLA23xx PCI Fibre Channel Adapter]がFibre Channelコントローラの実装枚数分表示されていない場合は、手順b-2以降を行ってください。
- b-2. [デバイスマネージャ]において、[不明なデバイス]－[ファイバーチャネルコントローラ]を右クリックし、[ドライバの更新]を選択する。
- b-3. [一覧または特定の場所からインストールする]を選択し、[次へ]をクリックする。
- b-4. [検索しないで、インストールするドライバを選択する]を選択し、[次へ]をクリックする。
- b-5. [SCSIとRAIDコントローラ]を選択し、[次へ]をクリックする。
- b-6. モデル一覧に表示されているドライバは選択せずに、[ディスク使用]をクリックする。
- b-7. CD-ROMドライブにEXPRESSBUILDERをセットし、[参照]をクリックして製造元のファイルのコピー元に、CD-ROMドライブ：WINNT\DRIVERS\QL2300フォルダを指定し、[OK]をクリックする。
- b-8. モデル欄に表示される、[Qlogic QLA23xx PCI Fibre Channel Adapter]を選択し、[次へ]をクリックする。
- b-9. ドライバの更新警告が表示されるが、[はい] をクリックして続行する。
ドライバがインストールされます。インストールの途中、10～20秒間マウスカーソルが動かなくなりますが、そのままお待ちください。
- b-10. [完了]をクリックする。
- b-11. [デバイスマネージャ]において、[SCSIとRAIDコントローラ]の下に、[Qlogic QLA23xx PCI Fibre Channel Adapter]がFibre Channelコントローラの実装枚数分表示されていることを確認する。
実装枚数分表示されていない場合は、手順b-2から手順b-10を繰り返してください。

(c) N8104-84(1000BASE-SX接続ボード)が接続されている場合

- c-1. [コマンドプロンプト]を実行する。
- c-2. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してCD-ROMドライブに移動する。
C:¥> CD-ROMドライブ:
- c-3. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してパッチファイルがあるフォルダに移動する。
CD-ROMドライブ:¥> cd¥WINNT¥DOTNET¥JP
- c-4. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行して、ドライバを更新する。
CD-ROMドライブ:¥WINNT¥DOTNET¥JP > N810484.BAT
- c-5. 以下のドライバの更新完了メッセージが表示される。
「[ドライバの更新 完了]
何かキーを押して終了してください。」

(d) N8104-103(1000BASE-T接続ボード)が接続されている場合

- d-1. [コマンドプロンプト]を実行する。
- d-2. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してCD-ROMドライブに移動する。
C:¥> CD-ROMドライブ:
- d-3. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してパッチファイルがあるフォルダに移動する。
CD-ROMドライブ:¥> cd¥WINNT¥DOTNET¥JP
- d-4. コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行して、ドライバを更新する。
CD-ROMドライブ:¥WINNT¥DOTNET¥JP > N8104103.BAT
- d-5. 以下のドライバの更新完了メッセージが表示される。
「[ドライバの更新 完了]
何かキーを押して終了してください。」

10. システムを再起動させる。

11. 再起動後、管理者権限のあるユーザでログインする。

重要

システムが正常に二重化されていることを確認します(装置前面の各PCIモジュールのSTATUS2ランプが緑色に点灯していることを確認してください)。

12. 再度、LANの二重化を行う。

オンボード、オプションボード共に行います。

「LANの二重化を設定する」(3-31ページ)および別冊のユーザズガイドの「N8804-001P1 100BASE-TX接続ボード」、「N8104-84 1000BASE-SX 接続ボード」「N8104-103 1000BASE-T 接続ボード」を参照してください。書き写しておいたLANの設定をもとに設定し直してください。

13. BIOSの設定を変更する。

「Advanced」―「Monitoring Configuration」の「Boot Monitoring」の設定を「Enable」に設定してください。詳細については、「起動監視機能の切り替え ～BIOS設定の変更～」(3-2ページ)を参照してください。

トラブルシューティング

装置に障害が発生した際の対処方法について説明します。

EXPRESSBUILDERについて

EXPRESSBUILDERからExpress5800/ftサーバを起動できない場合は、次の点について確認してください。

- ☐ POSTの実行中にEXPRESSBUILDERをセットし、再起動しましたか？
→ POSTを実行中にEXPRESSBUILDERをセットし、再起動しないとエラーメッセージが表示されたり、OSが起動したりします。
- ☐ BIOSのセットアップを間違えていませんか？
→ Express5800/ftサーバのBIOSセットアップユーティリティでブートデバイスの起動順序を設定することができます。BIOSセットアップユーティリティでCD-ROMドライブが最初に起動するよう順序を変更してください。
<確認するメニュー: 「Boot」>

EXPRESSBUILDER実行中、何らかの障害が発生すると、次のメッセージが表示されます。エラーコードを記録して保守サービス会社に連絡してください。

メッセージ	原因と処理方法
本プログラムの動作対象マシンではありません。	EXPRESSBUILDER の対象マシンではありません。対象マシンで実行してください。
NvRAMへのアクセスに失敗しました。	不揮発性メモリ(NvRAM)にアクセスできません。
ハードディスクへのアクセスに失敗しました。	ハードディスクが接続されていないか、ハードディスクが異常です。ハードディスクが正常に接続されていることを確認してください。
マザーボード上に装置固有情報が存在しません。 オフライン保守ユーティリティの[システム情報の管理]を使用してバックアップした情報をリストアするか、情報を書き込んでください。 この作業は、保守員以外は行わないでください。 オフライン保守ユーティリティを起動しますか？	マザーボード交換時など、EXPRESSBUILDERが装置固有情報を見つけれない場合に表示されます。保守員はオフライン保守ユーティリティを使用して情報を書き込んでください。

この他にもシステム診断を実行したときに障害を検出するとエラーメッセージが表示されます。表示されたメッセージをメモし、保守サービス会社までご連絡ください。

ftサーバセットアップについて



セットアップの開始時に次のメッセージが表示された

指定された disk が見つかりません。SW インストールを終了しています。

→ システムをインストールするディスクが正しく接続されていないことが考えられます。ハードウェアの取り付け状態や接続状態を確認してください。



CD-ROMからファイルをコピー中に次のメッセージが表示された

xxxxx : Not Ready xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxZ
xxxxx(A), xxxxx(R), xxxxx(F)

→ <R>キーを押してください。<R>キーを押しても何度も表示されるときは、セットアップをはじめからやり直してください。それでも同じ結果が出たときは保守サービス会社に連絡して、CD-ROMドライブの点検を依頼してください。



ネットワークアダプタの詳細設定ができない

→ Express5800/ftサーバのセットアップでは、ネットワークアダプタの詳細設定は行えません。Windowsの起動後、コントロールパネルから設定してください。



Windows Server 2003を正しくインストールできない

☐ インストール時の注意事項を確認していますか？

→ 「Windows Server 2003のインストール」(3-9ページ)を参照してください。



セットアップの途中で再起動してしまう

→ 「起動監視機能の切り替え ～BIOS設定の変更～」(3-2ページ)を参照し、本装置のBIOS設定を正しいパラメータに設定してください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.